

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 会報メール 第21号 [2010年6月号]

メータオ・クリニック支援の会 (JAM) 支援者の皆様

いつもご支援していただき、誠にありがとうございます。
JAM 会報メール第21号をお送りします。

JAM は2008年3月に発足されたNGOです。ビルマ/ミャンマーからタイへ貧困や戦火を逃れてきた人々の病院、メータオ・クリニックの活動を支援する目的で設立されました。

支援者の皆様へ JAM の最新の活動を毎月中～下旬ごろ、会報メールにて発信いたします。
今後ともどうぞよろしく願いいたします。

<目次> [ページ]

メータオ・クリニック支援の会 写真展のお知らせ	[2]
2010年度 スタディツアー中止のお知らせ	[2]
メソト・マンスリー 今月のメソトの様子をお知らせします。 (田辺 文)	
・ 移民学校 新年度を迎える	[3]
・ きょうのゆめ	[4]
・ 子どものからだ	[4]
国内から (村瀬友梨)	
・ +JAM生活	[6]
国際保健医療協力のなかで (7) (小林 潤)	[7]
賛助会員の皆様へ、会員更新のお知らせ	[8]
編集後記	[9]
次号の予定	[9]



ロゴ選考に会員の皆様から多くのご意見をいただきました。
ありがとうございました。
皆様からお寄せいただいた声を、ロゴ決定に反映してまいります。

メータオ・クリニック支援の会 写真展のお知らせ

「東アジア移住共生映画祭2010」(<http://film.witheastasia.org/>)

日時：平成22年 6月26日(土)、27日(日)

会場：熊本学園大学(熊本県熊本市大江2丁目5番1号)

主催：NPO法人東アジア共生文化センター
(<http://witheastasia.org/>)

映画祭の展示としてメータオ・クリニック支援の会の写真が展示されることになりました。

写真展では「人間の営み」や「命」「輝き」「共生」など、人間であることを証するような写真を展示される予定です。

写真はメータオ・クリニック支援の会の現地スタッフである田辺医師や日本事務局、及び元現地スタッフである梶看護師によって撮影された写真です(主にホームページやカレンダーに使用されている写真)。

ぜひ、足をお運びいただければ幸いです。

2010年度スタディーツアー中止のお知らせ

夏恒例のスタディーツアーの時期が迫ってきましたが、タイ・バンコク市内の反政府運動を受け、今年度のツアーの実施を検討させていただきました。

現在タイ国内の治安は徐々に正常に戻り、日本の外務省の渡航者注意喚起も暴動時よりも下がっていますが、依然タイ政府が暴動時に発令した非常事態宣言が解除されていないことを考慮し、**今年度のスタディーツアーの開催を中止と決定いたしました。**

ツアーを参加される方々の安全を第一優先とし、当会の判断をどうかご理解いただくようお願い申し上げます。

皆様にはご迷惑をおかけし、大変申し訳ございません。深くお詫び申し上げます。



メソト・マンスリー

今月のメータオ・クリニックの様子をお届けします。

【メソト（タイ北西部）＝田辺文】



移民学校 新年度を迎える

メソトのおよび近郊の移民学校の多くで6月から新学期が始まりました。

今年は昨年度より約20%増の生徒数となり、寄宿生徒数の増加はさらに急激で、隣接するカレン州だけでなく、ビルマ中から入学申し込みを受けています。

1990年の時点ではたった1校だった移民学校数は、20年後の現在、62校となりました。特に2000年からの生徒数の伸びは著しく、1990年は数十人、2000年の時点で800人程度、2010年は10833人。予測不可能と言ってもよい勢いです。

なぜ、国境地域で移民学校と生徒数の増加がここまで顕著なのか。

- ・東ビルマの情勢の悪化と新たな移民/難民の流出
- ・タイの経済発展と相対的なビルマとの格差の拡大→移民労働者の増加
- ・ビルマにおける就学の困難

・移民学校での無料教育に対するビルマでの信頼の増大

（高等教育を提供する教育施設の設立など）

・国境地域における教育の必要性に対する理解の深化・・・などなど

学校生徒数の伸び率は移民労働者数のそれを上回っており、ざっと考えられるだけでも複合的な要因が合わさっています。

一時的な子どもの保護施設が基礎教育を施し始めたことから、学校として機能するようになった移民学校。20年が過ぎた今、この地域で育った教師も出始め「長期化」「定住化」を見据えた装いに変わってきているようです。

メータオ・クリニック学校保健チームは新年度に向けて、ビタミンA、駆虫薬を配布に回りました。今年度は週一回の先生への健康講座も予定しています。



写真左：Hope 学校の先生と生徒、



写真右：GreenWater 学校の先生と生徒

きょうのゆめ

今日は、 ミヨ・ミヨちゃん 8歳 です。



乾期はもう少し遠くの畑でお父さんとお母さんとお兄さんと妹と住んでいました。そこには学校はなかったです。雨期の前にこっちに移りました。お父さんは「バンコク」に働きに行きました。タイに来たのはいつか・・・よく分かりません。大きくなったら・・・結婚するのかな？

きゃあ、たぶんね。

じゃあ、子どもは何人？
というおばさんな質問には恥ずかしがって答えてもらえませんでした。

子どものからだ ~ブログ Borderless Border's より~

JAMの学校保健チームと
子どもの栄養について調べています。

昨年

SMRU という国際 NGO が子どもの身体測定に基づいた栄養状態の調査をしました。

彼らは5歳以下の子どもたちの中で

1. 身長わりに体重が軽い子 (急性の栄養失調)
 2. 年齢わりに身長が低い子 (慢性の栄養失調)
 3. 年齢わりに体重が軽い子 (急性と慢性の混合型)
- を調べました。

メータオ・クリニックが支援している移民学校での結果は

急性の栄養失調 9%

慢性の栄養失調 25%

急性と慢性の混合型 21%

という結果でした。

ビルマ国内では

急性の栄養失調 11%

慢性の栄養失調 41%



急性と慢性の混合型 30%
と不安になるような数字。

そして**難民キャンプ**では

急性の栄養失調 3%
慢性の栄養失調 36%
急性と慢性の混合型 29%

(栄養失調児のほとんどがキャンプに来たばかりの家族の子ども)

ちなみに**北タイ**では

急性の栄養失調 5%
慢性の栄養失調 16%
急性と慢性の混合型 7%

これをみると

ビルマ国内の5歳以下の低栄養児はかなり多く
キャンプに来ると急速に改善され
北タイよりも急性栄養失調児は少なくなる。

移民地域では慢性栄養失調は比較的少ないが
慢性栄養失調に比して急性栄養失調児が多い
つまり

栄養が安定して得られていない・・・

のかな？

と勝手に考えます。

クリニックの外科を受診する子どもは、一般に低体重が目立ってはいません。
しかし、あちこちに
ひどいときは身体中に複数の膿瘍を作ってくる。

そういうときには

できるだけビタミン剤を同時に処方しています。

感染に強い身体・・・までを考えると
先は長いです。

★★ 現地での活動を日々、更新中です！ ★★ ぜひ、ご覧ください。

Borderless Border's (田辺文のブログ) <http://www.japanmaetao.org/blog/borderless/>

メータオ・クリニック支援の会ホームページにアクセス ⇒

活動・レポート・PR方法 ⇒

「現地からのレポート」 Borderless Border's



国内から

【東京＝村瀬友梨】

+ J AM生活

はじめまして。私は広報担当の村瀬友梨です。日頃は銀行のシステム会社にてシステムエンジニア職として働いています。

一般企業にて働くOLはJ AMもメンバーでも珍しく、日頃のばたばたの中ちょっとずつですが会報配信準備をしたり、HPを更新したりしています。

学校保健も母子保健もミャンマーのことも全く初めはわからなかった私がなぜJ AMのスタッフとして働くようになったのか、そしてJ AMでの活動を通しての自分の生活、人生がより魅力的なものになったのかをお伝えできればと思います。

NGOの活動に興味が無かったわけではなく、中学の頃から世界中にて貢献できるような仕事に就きたい、単純に困っている人を助けて自分が満足できる仕事をしていきたいと思っていました。といっても大学進学の際、ではどのような職種につきたいのか、どのような仕事を実際にしたいのか全くわからずに、そしてイメージを掴むこともできていませんでした。

とりあえず国際関係学を学び今世界で何が起きているのか、自分は具体的に何がしたいのかを探す為に進学をしました。

大学では一般的な国際関係学を学び、特にアジア人女性の人権に興味をもっていました。一年間ボランティアにてNGOにも参加していましたが、今度は就職といった時自分の生活を成り立たせる必要がなりよりもあること、そしてその稼いだお金で国際協力に参加できればよいと思いました。銀行業務や、システムの知識がもしかするといつか国際協力の役にたつかも说不定とも思いつつ、何より自分の生活を優先しました。

そのようにして就職しましたが、実際の業務は想像していた以上に激務でした。忙しいプロジェクトのメンバーだったことや、会社自身が統合を行ったこともあり。何よりも納得しての就職だったのに、心の中ではこれは自分がやりたい仕事じゃないと思いつけていました。病気もしてしまい、本当に苦しい時期でした。

その中で今クリニックに派遣中の田辺医師と何度かお話をし、私の夢を語ったりしていました。そのきっかけで、去年の夏にJ AMのお手伝いのお話を頂きました。

初めは知らない方々の中でとても緊張しながら活動をしていました。

皆、夢をもって前向きに取り組んでいます、しかもアツイ思いがあるから幾度と無く衝突も起こっていました。

私がJ AMで何ができるのかもわからないし、どのようにJ AMをまわしていけばいいのか、私の生活の中でどのくらい活動をすればいいのか、沢山悩み、様々な人とも語りました。

しかし、とてもこの+ J AMの生活が居心地良いのです。自分が望むものに少しでも近づいていること、魅力的なメンバー達との交流、ミャンマーの国と人を知っていくこと、会社での当たり前の業務がNGOの活動方法にも役に立っていること。J AMだけではなく、実際にメタオ・クリニックを訪れたり、ミャンマー支援活動をしている団体や医療による国際協力を実施している団体の講演会や、NGO活動の為のセミナー等に参加したり、ミャンマー語を勉強したり本当に毎日+な生活ができています。

ただでさえ会社の業務が忙しくて活動に参加できなかったり、至急や未経験な作業を依頼されたり、そしてうまくいかないこともあり、また支援者の皆様が望むNGOとしてのサービスを与えているのか悩んだり等ストレスも覚えています。

しかし本当に微力だと思っているけれどJ AMのメンバーとなり、そしてそのおかげで自分の生活が潤うことになり感謝をしています。

読んでくださり、私のような思いをもっている方に、日頃の生活に+を与えていけるきっかけにもなればと思っています。

その扉は結構簡単に開くかもしれない。



国際保健医療協力のなかで (7)



【東京＝小林潤】

バンコク中心部で黒煙があがっているショッキングな映像が世界中に流れた。

そのあと小さなニュースであったが、一時アジア最大のスラムであったクロントイ・スラムで貧困対策等の活動によってマグサイサイ賞を受賞したプラティープさんが逮捕されたと、私にとってはショッキングなニュースがあった。

プラティープさんは、今回デモを行ったUDDの幹部であったとのことである。NHK大河ドラマ「龍馬伝」のなかで、攘夷をつらぬいて殺人にかかわった土佐藩士がつかまったことについて、坂本龍馬が「正義と思いを貫いたから悪いことはしてないのではないか」と問いかけたことに対して、佐賀藩の意見番が「大きな世界の流れのなかで個人は米粒のように小さいものでしかない。単に世の中の流れで見方がかわっただけではないのか」と返す場面があった。

タイの混迷は、どちらがいいのか、何が正しいのか、簡単には説明できない状況ではないだろうか。

前タクシン首相は、収賄などで一躍日本でも一般の人にも知られるようになったが、実は貧困救済に大きな成果を残したことはあまり知られていないかもしれない。

私がタイでの学校保健活動に関わっていたとき、タクシン首相とその閣僚たちが示した貧困僻地対策によって大きな進展を示していたことは私でも強く感じられた。

クーデターによって設立された民主党政権、現在首都中心部占拠という暴挙にでた前首相派、どちらがいいのか、わるいのか、個人的にもなんともいえない状況である。

このようななかで、新たに実感しているのは、このような混沌の社会であるが、また自由に考えられる立場と環境にいることの幸せに感謝しなければいけないと改めて感じている。

いろいろな情報を自由に得ることができ、いろいろな立場の人に会うことができ、いろいろな場所に行ってみることもできる。このような多くの経験をする人や情報を得ることができるなかで、自分なりの判断をして、それを仲間や世界にも伝えることができる。

日本人であることで、そのような環境を手に入れることにさほどの障害もないだろうし、またさらに努力すれば仲間とともにそのような環境を作り上げていくことができる。このような環境を後輩にも提供していきたいし、世界の多くの人々が作れることを願わずにいられないことを、今回改めて認識している。

ヤンゴンで文医師にあって私の知人を交えて暑い昼のひとときに、いろいろな話をする事ができた。彼女は、ここ1年でいろいろな経験をし、いろいろな人と知り合い、またそれをもとに自分の見たこと聞いたことを人に伝えられるようになられたと思い大変嬉しくなった。



賛助会員の皆様へ、会員更新のお知らせ

向暑の候、会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。日頃よりメータオ・クリニック支援の会（以下JAM）にご支援いただき、心より感謝申し上げます。

さて、賛助会員としてご入会いただいてから1年が過ぎました。

1年間JAMの活動を応援してくださり、誠にありがとうございました。

皆様の会費と寄付に支えていただき、私たちはメータオ・クリニックの院内感染予防活動および移民自治学校における保健活動等、支援を展開することができました。今後も現地の保健医療サービスの向上により、ひとりでも多くのビルマ/ミャンマーの人々が心身ともに健康的に生活することができるよう、尽力してまいります。引き続きJAMの活動をご支援いただきたく、ご賛同いただける方は会員更新の手続きを宜しくお願い申し上げます。

なお、更新を希望されない方につきましては、手続きは不要です。またご支援いただける機会をお待ちしております。

賛助会員 更新手続き（年会費入金）の方法について

■更新手続きの対象

2009年4月～6月までに
賛助会員となられた方

■更新を希望される方は下記の年会費を郵便振込先へご入金ください。

<年会費> 一般会員：3,650円/年
学生会員：1,825円/年
法人会員：36,500円/年

<振込先口座>

銀行：ゆうちょ銀行 [金融機関コード：9900]
店名：〇〇八 店（ゼロゼロハチ店） [店番：008]
口座番号：普通 2577010
口座名義：メータオ・クリニックシエンノカイ

※ 当会が入金の確認をもって手続き終了となります。
メールにて更新手続きの完了をお知らせいたします。

■注意事項

- ・会員の有効期間は、入金日から1年となります。
- ・住所、氏名、メールアドレス、振込名義に変更がある場合は、下記の事務局までご連絡ください。

■更新期限 **2010年7月31日まで**

※ 更新手続きのない場合、会報の配信は7月で終了します。

※ 期限を過ぎてから入会する場合は、ホームページより新規の方法でお手続きください。

メータオ・クリニック支援の会

Japan Association for Mae Tao Clinic (JAM)

日本事務局宛てEメール：support@japanmaetao.org

ホームページアドレス：www.japanmaetao.org



JAMが支援する Hope School へ手洗いとトイレの水を川から引くためのポンプを寄付しました。



国内避難民地域で医療活動を行うヘルスワーカーへ講義を行いました。



